

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)		
事務事業名	老人いきがい対策経費	事業番号	73
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	高齢者福祉事業団
	対象者の今後の予想	会員数の減少が危惧されている。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	高齢者福祉事業団の体制強化や会員に適した仕事の開拓と提供を目的として、事業団の主旨に賛同する会員の加入促進や会員の自発性を高め、積極的な事業参加を推進する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	高齢者が地域とつながり、生きがいを感じられる社会参加の機会の充実。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 高齢者福祉事業団会員数	70名	72名	64名	65名			80名	90名
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
		1,601		1,601		1,601		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,601		1,601	1,601	
人員(人工)				0.17		0.17	0.17	
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)				1,308		1,308	1,308	
総事業費(=事業費+職員人件費)				2,909		2,909	2,909	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				44		44		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	草刈、除雪、その他軽作業が主な業務であるが、会員数の増加や市民ニーズに対応できる新たな業務の開拓を推進する。
今後の動向・市民ニーズなど	高齢者人口が増加する中、いきいきと活躍できる機会を増やし健康寿命を延ばすことが求められている。

#### 5 事務事業の評価

	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	会員に適した仕事を提供することにより、社会参加の機会が充実している。今後のにおいては、市民ニーズに対応した業務の開拓を推進する。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 超高齢化社会に伴い、施策目標である「高齢者が生きがいをもって活躍するまち」の実現が求められている中、市と高齢者福祉事業団が連携することが必要。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 会員数の増や高齢化に対応した生活支援サービスの開拓を推進する。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 高齢者福祉事業団の職員に対する人件費を支出している。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 高齢者福祉事業団の体制強化や会員に適した仕事の開拓と提供の推進を目的とした事業を展開する。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 高齢者福祉事業団の体制強化や会員に適した仕事の開拓と提供を目的とした事業であり、負担をいただくことはありません。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替 ) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)		
事務事業名(事業番号)	外出支援サービス事業	事業番号	11359
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	概ね65歳以上の寝たきりになっている方や重度身体障害者など。
	対象者の今後の予想	高齢者の増加に伴い、利用希望者の増加が予想される。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	以下の目的で外出する方へ車両による移送を行います。 ①緊急性のない病気治療のための通院や医師の特別な支持のある入退院時 ②保健福祉サービスを提供する施設等の利用時	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	ひとりでは病院や施設に行けない方に対し、家族に代わって移送を行うことにより利便性を向上させ、家族の負担を軽減します。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 外出支援サービス利用者数	180人	154人	147人	145人			190人	200人
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
		13,764		13,764		13,828		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		13,764	13,764		13,828		
人員(人工)			0.08	0.08		0.08		
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)			616	616		616		
総事業費(=事業費+職員人件費)			14,380	14,380		14,444		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			99	99				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	家族に代わって移送を行うことにより利便性を向上させ、家族の負担を軽減します。
今後の動向・市民ニーズなど	超高齢化社会に伴い、ひとりでは外出できない方が増加している。

#### 5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない ひとりでは病院や施設に行けない方に対し、家族に代わって移送を行うことにより利便性を向上させ、家族の負担軽減を図っている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 社会福祉協議会への委託を実施。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない ひとりでは病院や施設に行けない方に対し、家族に代わって移送を行うことにより利便性を向上させ、家族の負担軽減を図っている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 超高齢化社会に伴い、ひとりでは外出できない方がますます増加し、コストも増加することが予想される。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 超高齢化社会に伴い、ひとりでは外出できない方がますます増加し、利用希望者の増加が予想される。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 介護保険法による介護報酬の告示額を負担いただいている。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)		
事務事業名(事業番号)	高齢者バス優待乗車券等交付事業	事業番号	12595
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	70歳以上の高齢者
	対象者の今後の予想	高齢者人口の増加により、利用者の増加が見込まれる。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	高齢者が増加する中、趣味・学習・仕事を通じて閉じこもりがちな高齢者が気軽に社会参加できる環境整備や世代間交流を推進する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	元気な高齢者が積極的に社会参加することにより、孤立や孤独を防ぎ、地域との繋がりの中で生きがいをもって生活できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 高齢者バス優待乗車券利用率	—	—	36.6%	32.0%			45.0%	50.0%
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			H29予算		H29決算		H30予算	
			16,405		15,980		16,535	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他		2,000		2,000		2,000	
	一般財源		14,405		13,980		14,535	
人員(人工)			0.33		0.33		0.33	
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)			2,540		2,540		2,540	
総事業費(=事業費+職員人件費)			18,945		18,520		19,075	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			592		579			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成32年度までは基金を活用し、1乗車につき100円の利用者負担とする。
今後の動向・市民ニーズなど	高齢化が進み、バスやJR利用の増加が見込まれる中、便数の減少や路線の廃止が懸念される。

#### 5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 路線バスやJRは高齢者の移動手段として、欠かせないものである。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 車輛による移送業務のため、路線バスやJR以外の移送手段により民間事業者等でも実施が可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 平成33年度以降、基金が底を付くことから新たな財源の検討が必要。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 路線バスやJRの利用数により費用を負担している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 今後においても、路線バスやJRが高齢者の移動手段として利用できるよう、本事業を継続していきます。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 路線バスの利用時、1回の乗車につき100円を負担いただいている。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(地域包括支援担当)		
事務事業名	高齢者見守りボランティア事業	事業番号	12613
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5 高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民、町内会等の団体
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	●個人ボランティア	個人ボランティアについては、自分の出来る範囲での見守りを基本に考えています。普段の近所付き合いの中で「何かおかしい」「いつもと違う」等の異変を感じた時に市の地域包括支援センターと連携し、適切な支援に繋がります。
	●団体ボランティア	団体として、安否確認や声かけ等の見守り活動を実施します。活動費として市から助成金(3万円)を交付しています。
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	住民がお互いに支え合いながら安心していつまでも住み続けることのできる地域づくりを目標としています。国が推進する「地域包括ケアシステム」の構築に繋がるものと考えています。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 団体ボランティアの数	-	-	3団体	6団体			15団体	30団体
2 個人ボランティアの数	-	-	58人	81人			100人	100人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			H29予算		H29決算		H30予算	
			368		314		560	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他		368		314		560	
	一般財源							
人員(人工)			0.10		0.10		0.10	
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)			770		770		770	
総事業費(=事業費+職員人件費)			1,138		1,084		1,330	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			189		180			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)			14		13			

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	・団体ボランティア事業助成金 1団体あたり 2万円⇒3万円へ
今後の動向・市民ニーズなど	高齢者人口の増加に伴って、見守りの必要な高齢者は増加するものと推測している。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	平成29年度では、6つの団体が声かけや安否確認等の見守り活動を実施しました。また、個人ボランティアについては登録者が81名となり、それぞれが自分の出来る範囲で活動を行って頂いています。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 民間事業者は既に見守り活動に取り組んでおり、市としても民間事業者と見守り活動に関する協定を締結しています。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 平成29年度に、助成金の見直しを行ったばかりであり、今のところ、見直しの予定はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 現時点においても、必要最小限のコストで事業を実施しています。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない ボランティア活動について、他の事業との統合は今のところ考えていない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある ボランティア活動という趣旨から受益者負担は適さないものと認識しています。

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月